

# 行政報告

市議会6月定例会が6月3日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から主なものの要旨をお知らせします。

## 市民サービスセンターを開設

5月7日、いとく大館ショッピングセンター内に市民サービスセンターを開設しました。これまで、1日平均約100人が訪れ、5月中の諸証明発行件数が約400件、市税などの取り扱いが1700件、約1800万円と、予想を上回る状況で推移しています。

各種相談に訪れるかたも多く、担当課への取り次ぎ窓口としても機能していて、土日の対応を含め、サービス向上に努めます。



市民サービスセンター窓口

## 雇用情勢

### 地域の雇用状況

4月のハローワーク大館管内の有効求人倍率は0.77倍、前年同期に比べ0.21ポイント増と大幅に増加しています。

一方、この春の就職状況では、昨年に引き続き、高校卒業者で就職を希望した258人全員の就職が決定しています。このうち、県内就職者は110人で昨年は18人上回りました。また、秋田職業能力開発短期大学校でも就職率は98.1%と、昨年度に比べ4.7ポイント増で、高い就職率を維持しています。

### 指定工場における雇用の状況

大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場は、4月1日現在で61社、従業員数は4309人となり、昨年同期と比べて1社、234人の増となりました。

また、昨年12月に誘致を発表した株式会社フレッシュシステムが5月12日に起工式を行い、来年3月の操業を目指しているほか、本年2月に誘致を発表した白金運輸株式会社も、4日に起工式を行い、年内の操業開始を予定しています。

さらに、ニプロ大館工場では、製品保管自動倉庫が本年8月頃の完成予定であり、ニプロファーマ大館工場では、製剤棟が秋頃に完成する予定です。

発生が平年よりやや多く見られました。耕起作業は平年より早く盛期を迎えましたが、用水が不足し、代かき作業が計画的に実施できない圃場が見られ、田植え作業は5月12日頃から始まり、終期は平年並みとなりました。

これら県外企業の新規立地及びニプログループによる60億円を超える設備投資で、今後さらなる雇用の増加が見込まれています。

また、飼料米の作付けは、農業総合指導センターとJAあきた北が連携して、出川字上屋布岱に飼料米実証圃66aを設置し、5月18日に「秋田63号」の苗を植え付けました。そのほか一般の農家でも約6haが作付けされています。今後は生育の状況を調査し、本格的な栽培に向けて基礎データを収集していきます。

## 農作物の生育状況

地域雇用創造推進事業の取り組み状況 国からの委託を受け進めてきた「地域雇用創造推進事業」では、昨年度、地域の求職者の能力向上による雇用創出を目的に、語学講座やインターネット活用講座などの16講座と、各企業の業績アップによる雇用拡大を目的に、事業主向けの2講座を開催しました。

学校施設の耐震対策 昨年度、比内中学校と田代中学校の耐震診断を実施した結果、両校とも耐震補強が必要であり、補強をすることで耐震性が確保できると診断されました。

求職者向けの講座には、延べ266人、実数にして186人が参加、34人の就職と1人の創業につながりました。また、事業主向けの講座には、13社から33人が受講しています。本年度も24講座を開催し、就職促進、雇用機会の拡充を推進します。

診断結果に基づき、優先度が高いと判断した比内中学校の特別教室棟と管理棟、「田代中学校の普通教室棟」は、補強工事を早急を実施することとしていて、関連予算案を本定例会に提出しています。

4月から5月にかけての高温少雨で、用水不足などの農作物への影響が懸念されたことから、代かきの計画的な実施や「育苗の管理」などの周知を図りました。その後の降雨で、用水不足は解消されていますが、今後とも、気象情報に注意し関係機関と連携を取りながら、指導の徹底に努めます。

耐震補強工事は、今回の工事以外にも比内中学校、田代中学校で、また、南中学校、花岡中学校でも必要であることから、優先度を考慮し、年次計画を立てて順次実施します。

基幹作物の水稲は、一部の育苗ハウスで、「葉やけ」が見られ、また、「カビ」などの

一方、現在改築工事を実施している、花岡中学校東側校舎は7月31日に、「花岡小学校南側校舎」は8月12日に完成予定です。